昼間小学校で河川環境学習を開催しました。

昼間小学校４年生の児童を対象に、「汚水のお話」により汚水の処理など、水をきれいにする仕組み、東みよし町の汚水処理について学びました。その後、「川の水をきれいにするための取り組み」について学習した後、身近な川の水や生活排水の水質検査、透視度検査を体験し、水をきれいにする事の大切さを学びました。

【実施概要】

日　時：平成 26 年 7 月 2 日（水）10：30 ～ 12：00

場　所：昼間小学校

参加者：昼間小学校　4 年生　36 名

徳島県　河川振興課　2 名

徳島県　水・環境課　1 名

徳島県　西部総合県民局（三好庁舎）　3 名

東みよし町　環境課　2 名

内　容：1 汚水のお話

2 身近な汚水処理施設について

3 川の水をきれいにするための取り組み

4 水の汚れの原因（水質実験：透視度、 COD パックテスト）

【活動状況】

〇汚水のお話

生活の中で発生する汚水を汚水処理施設できれいな水に処理する工程、汚水処理施設の種類、汚水を少なくする方法などを学びました。

〇身近な汚水処理施設について

東みよし町民が利用している吉野川の取水施設や汚水処理施設などについて学びました。

〇「川の水をきれいにするための取り組み」

川の役割や川と人の関わりなど、川に関する基本的なことを学びました。また、川をきれいにするための取り組みやその大切さを学びました。

○「水の汚れの原因」水質実験（COD パックテスト、透視度測定）

身近な河川の金江谷川と水道水の透視度を測定しました。測定結果は、金江谷川の水は、水道水に比べて透視度が低いことがわかりました。

次に、COD（化学的酸素要求量）をパックテストにより測定しました。金江谷川と水道水の COD を測定した結果、水道水に比べ、金江谷川のほうが COD が高く、金江谷川の水のほうが汚れていることがわかりました。また、川の汚れの原因となる生活排水として、身近にある食品（牛乳、ジュース、しょうゆ、スープ、日本酒、米のとぎ汁、焼き肉のたれの全 7 種類）の COD を測定しました。測定した結果、300ml の水に 1 滴程度混ぜたものでも 5～50mg/l となり、食品によっては高い値を示すものもありました。このことから、残した食べ物を安易に流しや川に捨てることによって川がどれほど汚れてしまうかを知り、水質浄化のために自分達ができることを学びました。